



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 遠藤 嘉一
幹事 佐藤 政司
SAA 丹野富二男
会報小委員長 釣巻 穰

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

2009 ~ 2010 年国際ロータリーのテーマ

第 2363 回 例会 平成 22 年 6 月 2 日 (水・晴)

ゲスト

会員卓話

船橋 征行 会員

◎会長報告 - 遠藤会長



皆様、今日は。早くも 6 月に入ってしまった。ようやく 6 月らしい晴天の日が続いております。今月は今年度の最終月になります。この 1 年間、その日その日は非常に慌しく過ぎました。しかし、過ぎ去って見ると私にとって長い 1 年でした。今月最後の例会で年度報告がありますので、詳細はその時にお話をさせて戴きます。充分満足とは言えないまでも、大過なく運営出来たのも佐藤政司幹事始め、各委員会のご協力のお蔭だと感謝しております。それから 7 月から新しい事務局員になれる金成仁子さんを紹介します。後程ご挨拶をお願いします。長年お世話戴いた前澤さんは、昭和 59 年第 23 代会長の鈴木英夫さん（鈴木修一郎会長エレクトのお父さん）の時代から事務局を担当されました。本人のたつての希望により退任されることになりました。26 年間大変ありがとうございました。金成さんには今月一杯事務局見習いで前澤さんと重複していろいろな事務手続きを引き継いで欲しいと思います。宜しくお願いします。それと牧野会員からも後程退会挨拶を頂戴することになっております。後任にはホテルミドリ社長の林毅彦さんが入会予定で、今日の理事会で承認を戴くことになっております。それからこれはお願いですが、6 月は年度末ですので会計の決算をしなくてはなりません。会費未払いの方がいらっしゃれば早急をお願いします。また、年度行事各委員会未払金の繰越しがない

君が代

ロータリーの綱領 遠藤会長
- 今月は親睦活動月間です -

ようにして下さい。それから IT 検討委員会で作成中のホームページが、吉野さんと鈴木雅之さんのご尽力でどうにか 6 月中には立ち上がることになりました。今年度の大きなテーマであった IT 化の取っ掛りとしてホームページ作成に着手して戴きました。先日見せて戴きましたが、非常に立派なホームページがスタートすることになるだろうと思います。皆さんもお楽しみに。

◎新事務局員挨拶 - 金成仁子様



只今ご紹介を戴いた金成仁子です。今回いわき勿来ロータリークラブさんとご縁がありお世話になることになりました。最初は何かと分からないことが多いと思いますので皆様のご指導を戴きながら頑張りますので宜しくお願いします。

◎幹事報告 - 佐藤政司幹事

・新しくロータリーソングの CD を買いましたのでご希望の方がいましたら差し上げます。その時はスマイルをお願いします。
・新しい会員手帳が届きましたのでご確認下さい。
・年次計画書、年次報告書が出来上りましたら提出して下さい。
・本日例会終了後、理事会があります。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 越田和副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。高出席率が次年度も続くように宜し



くお願いします。

◇スマイルボックス委員会 - 鈴木委員



・新事務局員の金成仁子さんを歓迎して。渡邊（公）、生駒、渡辺（勉）、鈴木、富岡、吉野、清水各会員及び鈴木（修）会長エレクト、佐藤（政）幹事

・誕生祝ありがとうございました。

越田和、峯口、釣巻、清水各会員

・前回例会休んでごめんなさい。

神白、小熊、佐久間、渡邊（國）、白土各会員

・本日早退ごめんなさい。

猪俣、佐藤（英）各会員及び鈴木（雅）副幹事

◇親睦活動委員会 - 峯口副委員長



遠藤年度最後の大きな事業、会長杯ゴルフコンペの組合せが決まりました。ゴルフ出席 22 名、夜の部出席 29 名で 6 月 6 日に予定しています。9 時 30 分スタートで雨天決行です。アルコールが家で眠っている方は是非ご持参下さい。それから本日は誕生日祝いのプレゼントを差し上げます。清水会員、釣巻会員、峯口会員、越田和会員、前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◎退会会員挨拶 - 牧野新太郎会員



皆さんの前で話をするのは心苦しいですが、最近特に体調が悪くこれから先ロータリー会員としてやっけて行けるか大変悩みました。その結果、私はここでお別れして若い者にバトンタッチすることに決めました。どうか皆様には体に気を付けてロータリーの発展にお力添えを戴きますようお願いし、退会の挨拶と致します。大変ありがとうございました。

◎地区社会奉仕委員会報告

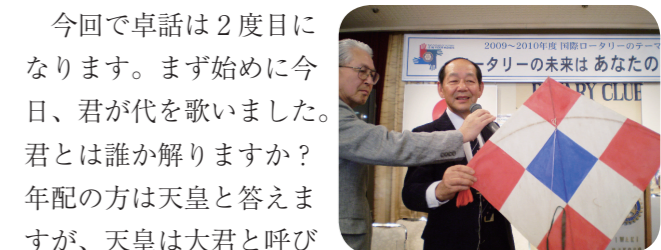
- 鈴木修一郎会長エレクト



5 月 29 日(土)、第 2530 地区の社会奉仕委員会の集まりがあり、猪苗代湖湖水環境協議会設立総会に出席して参りました。7 月 1 日から 5 年間、地区のテーマとして協議会運営に係って行こうというものです。ひとり 500 円の人頭分担金の負担が発生することになりました。8 月から毎週、湖岸清掃を

50 名くらいのボランティアの皆さんと行うという話でした。予定等決まりましたら報告致しますのでご支援ご協力宜しくお願い致します。

◎会員卓話 - 船橋征行会員



今回で卓話は 2 度目になります。まず始めに今日、君が代を歌いました。君とは誰か解りますか？年配の方は天皇と答えますが、天皇は大君と呼ばれます。ただの君という場合はあなたという意味になります。ですから君が代という歌は大変国民的な歌なのです。今回は縄文人の考え方についてお話したいと思います。地球に氷河期が 4 回ありました。最後の氷河期が終わったのが 1 万 5,000 年前だと言われています。氷河期が終わった 1,000 年後には、エジプトや中国人ですでに農耕が始まっています。日本の農耕の始まりは約 2,400 年前頃と言われ、中国大陸に比べて後進地域でした。理由は日本が島国であったため、縄文時代は 1 万年近くも続きました。日本人はその間、自然の中から生活するために必要な全ての物を得ていました。それは日本が採集生活で暮らして行ける程食糧が豊かで気候も温暖な地域だったことを表しています。その後、中国から稲作文化を持った中国人が渡って来るのが、中国の戦国時代が終わった紀元前 400 年位前です。その稲作文化を持って来た弥生人が日本に住んでいた縄文人を滅ぼすことはしませんでした。それは日本の国土が狭く土地をめぐって争うより縄文人の文化を尊重し融和を計る方が得策と考えたからです。また、船で大陸から日本へ渡ってくるため、人数も少数だったからだろうと考えます。縄文人は自然の恵みで生活の全てを得ていたもので、自然に対し神聖さを感じていました。山や川、太陽、月、海等を神として崇拝し感謝する心が自然に生まれました。弥生人も自然に対する畏敬の念や崇拝心をそのまま受け継ぎ、それは現代の日本人にも引き継がれています。私達人間は自然環境なしでは生きられない。それは文明がいくら発達しても変わりません。自然と共生しないと人類は生きて行くことが出来ないのです。（その他趣味の和風の楽しいお話をお聞きました。）

理事会報告

6 月 2 日例会終了後、理事会を開催し下記を審議致しました。

- 会員入退会の件
- 年度末の会計の件
- 新年度委員会編成の件

出席状況

正会員数 56 名
本日の出席率 85.71%